

定例公安委員会の開催状況について

令和8年3月26日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 令和7年中における警察宛て苦情取扱状況について

令和7年中における警察宛て苦情取扱状況について報告があった。

委員から、苦情は、適切な処理を旨とし、業務改善につなげていくことが重要であり、今後もの確に対応していただきたい旨の発言があった。

委員から、苦情に至っていることを重く受けとめ、原因をしっかりと分析し、今後の対策に生かしていただきたい旨の発言があった。

委員から、新年度が始まると、業務への不慣れから、苦情に発展することも懸念されることから、業務管理をしっかりと実施していただきたい旨の発言があった。

(2) 令和7年中の公文書・個人情報の開示請求及びその決定等の状況について

令和7年中の公文書・個人情報の開示請求及びその決定等の状況について報告があった。

委員から、不開示部分等について、開示請求者の納得を得られるように対応していただきたい旨の発言があった。

委員から、開示請求に対しては、行政の透明性と信頼性を確保する上で重要であるとの認識の下、引き続き、適切に対応していただきたい旨の発言があったほか、開示に当たっては、プライバシーの保護に十分配慮していただきたい旨の発言があった。

委員から、開示請求の中には、行政の業務をチェックする意図が込められているものも多いため、真摯に対応していただきたい旨の発言があった。

(3) 銃砲等検査の実施について

銃砲等検査の実施について報告があった。

委員から、銃砲の保管方法に関する法令違反もあることから、しっかりと点検、指導を行っていただきたい旨の発言があった。

委員から、近年の市街地でのクマ出没事案を受けた緊急銃猟により、銃砲の取扱いに対する世間の関心が高まっていることから、各種検査は、厳格に実施していただきたい旨の発言があった。

委員から、銃砲等の検査については、保管状況のチェックを含め、法令に従い厳格に行っていただきたい旨の発言があった。

(4) 令和8年度「春の交通安全県民運動」の実施について

令和8年度「春の交通安全県民運動」の実施について報告があった。

委員から、県内の交通事故死者数が減少していることは、交通部をはじめとする県警察が一丸となった取組の成果と評価したい旨の発言があったほか、自転車乗車時のヘルメット着用者が増えてきた印象がある一方で、自転車の危険運転が見受けられるため、自転車の正しい乗車方法に関する指導・教育に努めていただきたい旨の発言があった。

委員から、「春の交通安全県民運動」を通じて、死亡事故の抑止につながる気運の盛り上げを図っていただきたい旨の発言があったほか、重大事故につながるながらスマホ、飲酒運転、横断歩行者妨害違反の取締りを引き続き徹底していただきたい旨の発言があった。

委員から、人流が活発化し、移動する車両のスピードも早まるこれからの時期は、交通指導取締りや街頭活動を強化していただきたい旨の発言があったほか、新入学、新学期を迎える子供達には、各種機会を通じて、「交通安全ありがとう運動」の趣旨を浸透させていただきたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

- 審査請求に係る裁決について
警察本部から、審査請求に係る裁決について説明を受け、決定した。
- 運転免許行政処分審査
警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞の結果について説明を受け、決定した。
- 援助の要求について
警察本部から、福島県公安委員会からの援助の要求について説明を受け、決定した。
- 緊急銃猟案件について
警察本部から、緊急銃猟案件について報告があった。
- 監察案件について
警察本部から、監察案件について報告があった。
- 令和7年における刑法犯認知件数等に係る各種統計
警察本部から、令和7年における刑法犯認知件数等に係る各種統計について報告があった。
- 報道案件について
警察本部から、報道案件について説明があった。
- 県会計監査の結果について
警察本部から、県会計監査の結果について報告があった。
- 自転車防犯登録料金の改定について
警察本部から、自転車防犯登録料金の改定について報告があった。
- 令和7年における自動車運転代行業の認定等実施状況について
警察本部から、令和7年における自動車運転代行業の認定等実施状況について報告があった。